

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **07295093 A**

(43) Date of publication of application: **10.11.1995**

(51) Int. Cl. **G03B 17/56**

G03B 17/38

(21) Application number: **06090048**

(22) Date of filing: **27.04.1994**

(71) Applicant: **KONICA CORP**

(72) Inventor: **OKAGAITO KIYOSHIGE
AIZAWA TAKESHI**

(54) CAMERA PROVIDED WITH REMOTE CONTROL

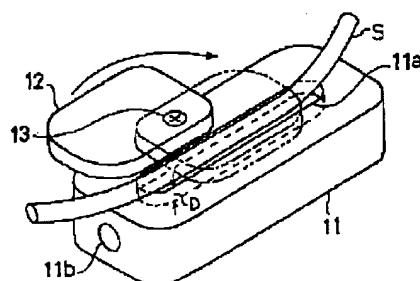
(57) Abstract:

PURPOSE: To sandwich and fix a remote control transmitter to the strap of any shape without especially requiring a holder in the case of attaching the remote control transmitter to the strap by directly filing the remote control transmitter to the strap.

CONSTITUTION: A long groove 11a is cut on the surface of the remote control transmitter 11, and the width and the depth D of the long groove are formed to be sizes capable of making the strap S to be used embedded. A cover 12 is turnably and pivotally supported to the same surface of the long groove 11a as a sandwiching member by means of a set screw 13. After the strap S is fitted to the long groove 11a at a position shown in a figure, the cover 12 is turned in a direction shown by an arrow to a position of an alternate long and two short dashes line on the upper part of the long

groove 11a; so that the strap S is held between the long groove 11a and the cover 12. Consequently, the remote control transmitter 11 is sandwiched and fixed to the strap S. The strap S is brought into press contact while the size of the depth D of the long groove 11a is made slightly thinner than that of the thickness of the strap S; so that the remote control transmitter 11 does not move with respect to the strap S and is fixed to a specified position.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-295093

(43) 公開日 平成7年(1995)11月10日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	片内整理番号	P I	技術表示箇所
G 0 3 B 17/56		D		
17/38		Z		

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-90048

(22) 出願日 平成6年(1994)4月27日

(71) 出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72) 発明者 岡垣内 清茂

東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

(72) 発明者 愛沢 剛

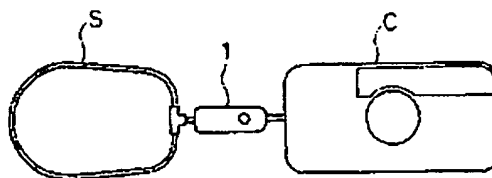
東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

(54) 【発明の名称】 リモコン付きカメラ

(57) 【要約】

【目的】 リモコン発信機をストラップに取り付ける際、格別にホルダーを必要とせず、どのような形状のストラップにも装着可能にする。

【構成】 カメラを遠隔操作するリモコン発信機11の表面に、カメラのストラップSを挟着する挟着部材12を設け、リモコン発信機11をストラップSに直接固定した。



(2)

特開平7-295093

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラ本体とは別体であって、前記カメラ本体の遠隔操作を行うリモコン発信機と、前記カメラ本体を携帯するために前記カメラ本体に取り付けられるストラップとを有するリモコン付きカメラにおいて、前記リモコン発信機は前記ストラップに直接固定することを特徴とするリモコン付きカメラ。

【請求項2】 カメラ本体とは別体であって、前記カメラ本体の遠隔操作を行うリモコン発信機と、前記カメラ本体を携帯するために前記カメラ本体に取り付けられるストラップとを有するリモコン付きカメラにおいて、前記リモコン発信機に対する前記ストラップの固定は、前記リモコン発信機に形成された前記ストラップを通す溝部と、端部を軸固定し前記溝部内壁との間で前記ストラップを挟着するために前記溝部の上部を閉塞可能に形成された挟着部材とにより前記ストラップを挟着固定したことを特徴とするリモコン付きカメラ。

【請求項3】 カメラ本体とは別体であって、前記カメラ本体の遠隔操作を行うリモコン発信機と、前記カメラ本体を携帯するために前記カメラ本体に取り付けられるストラップとを有するリモコン付きカメラにおいて、前記リモコン発信機に対する前記ストラップの固定は、前記リモコン発信機の表面から所定間隔の隙間をもって形成された挟着部材を弾性変形させて前記隙間に前記ストラップを通すことにより、挟着固定することを特徴とするリモコン付きカメラ。

【請求項4】 前記挟着部材は前記リモコン発信機に少なくとも2箇所形成されており、且つ前記挟着部材に前記ストラップを通す位置を交互に変えて配設したことを特徴とする請求項3に記載のリモコン付きカメラ。

【請求項5】 カメラ本体とは別体であって、前記カメラ本体の遠隔操作を行うリモコン発信機と、前記カメラ本体を携帯するために前記カメラ本体に取り付けられるストラップとを有するリモコン付きカメラにおいて、前記リモコン発信機に対する前記ストラップの固定は、前記リモコン発信機の表面の一端にヒンジ部を有し、且つ固定時に前記リモコン発信機と係止する係止部を他端に有する挟着部材により固定されることを特徴とするリモコン付きカメラ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、カメラを遠隔操作するリモコン発信機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、カメラをワイヤレスで遠隔操作するリモコン発信機が各産販売されており、リモコン発信機による光等の照射によって、随時シャッターレリーズを行うことができるので、撮影者も含めた人物撮影において、セルフタイマーより便利に使用されている。また、鳥やペット等の撮影においても、被写体の後方から

操作できるので、撮影者を意識しない写真が撮れるという利点がある。

【0003】しかし、リモコン発信機は当然のことながらカメラとは別体のものであり、比較的小型に作られているので、紛失する恐れがある。従って、従来のリモコン発信機は、コニカZ-up 80RCの如く、携帯のときや不要なときにカメラ本体の一部に収納される構造になっている。

【0004】また、特開平3-231731号公報には、ストラップに通して取り付け可能なホルダーを設け、該ホルダーにリモコン発信機を係着する技術が開示されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来の、コニカZ-up 80RCの如き構造では、リモコン発信機を収納する収納空間がカメラ本体に必要であり、必然的にカメラ本体が大きくなってしまいう問題がある。

【0006】また、特開平3-231731号公報に開示されているホルダーにリモコン発信機を係着する場合は、ホルダーという専用部材が必要である。更に、ホルダーを取り付けるにはストラップの両端を固着していない所謂オープンタイプのストラップである必要があり、両端を固着してリング状に形成したストラップにはホルダーを取り付けることができない。その上、リモコン発信機をストラップから外したときにホルダーがストラップに残っているため、ストラップに局所的な曲げくせ等の負荷がかかり、結果としてストラップを傷めることになり、吊り下げ途中で切れたりする等の危険がある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題は本願発明における、カメラ本体とは別体であって、前記カメラ本体の遠隔操作を行うリモコン発信機と、前記カメラ本体を携帯するために前記カメラ本体に取り付けられるストラップとを有するリモコン付きカメラにおいて、前記リモコン発信機は前記ストラップに直接固定することを特徴とするリモコン付きカメラ、により解決される。

【0008】

【実施例】本願発明の実施例を図1乃至図4に基づいて、詳細に説明する。

【0009】図1はカメラのストラップにリモコン発信機を取り付けた図である。

【0010】同図において、カメラCはストラップSによって吊り下げられるが、ストラップSにリモコン発信機1を取り付けることにより、従来技術の如くカメラ本体が大きくなるということがない。また、本願発明によれば専用ホルダーも不要であり、どのような形状のストラップにもリモコン発信機を挿着でき、また使用時に簡単に取り外すことができる。ストラップは、オープンタイプでもリング状でもよいし、断面形状が矩形のものでも円形のものでもよい。

【0011】また、ストラップは図1に示すネクスト

(3)

特開平7-295093

3

ラップに限らず、図2及び図3に示すリストストラップでもよく、リモコン発信機1は図2又は図3の如く取り付けてもよい。

【0012】図4は、リモコン発信機にストラップを挟着固定した第1の実施例の図である。

【0013】同図において、11はリモコン発信機であり、その表面に長溝11aが穿設され、その幅及び深さは使用するストラップが埋設可能な寸法に形成されている。また、長溝11aと同一面には挟着部材として蓋12が止めネジ13により回転自在に軸着されている。同図の位置にてストラップSを長溝11aに嵌め込んだ後、蓋12を長溝11aの上部の2点鎖線の位置まで矢印方向に回転することにより、ストラップSは長溝11aと蓋12との間で挟着される。従って、リモコン発信機11はストラップSに挟着固定されることになる。

【0014】ここで、長溝11aの深さDをストラップSの厚みより若干浅くして、ストラップSを圧着することにより、リモコン発信機11はストラップSに対して移動することなく所定の位置に固着される。この場合、ストラップは弾性率の比較的低い材質、例えば麻ひもや塩化ビニールが好ましい。

【0015】また、蓋12が不用意に回転しないように、蓋12とリモコン発信機11の表面との間には、クリックストップを設けた方がよい。

【0016】なお、11bは赤外光を発光させる発光窓であるが、赤外光に限らず、電波又は音波による信号を発信させてもよい。

【0017】図5は、リモコン発信機にストラップを挟着固定した第2の実施例の図である。

【0018】同図において、21はリモコン発信機であり、その表面には、ストラップSを挟着する挟着部材22が構築され、その一端22aはリモコン発信機21の外装部材に一体的に固着されている。挟着部材22の他端22bは、挟着部材22を弾性変形させることよりストラップSを挿入可能な間隙dを設け、挟着部材22の中央部22cにはストラップSを圧着可能な間隙Dを設ける。このように構成した挟着部材22の他端22bの間隙dから中央部22cの間隙Dに、ストラップSを挿入することにより、リモコン発信機21はストラップSの所定の位置に挟着固定される。

【0019】なお、挟着部材22はリモコン発信機21の表面と樹脂で一体成形されていることが望ましく、弾性が強い材質、例えばポリアセタールやガラス繊維入りポリアセタールが好適である。

【0020】また、リモコン発信機21がストラップSに安定して固着されるためには、複数の挟着部材22を設けることが望ましく、また、挟着部材22の固着部の位置は同図の如く交互に替えた方がよい。

【0021】更に、挟着部材は図6(A)又は図6(B)に示す断面図の如き形状にして、ストラップSを

4

挟着してもよいし、図7に示す変形例のように金属板又は樹脂板を折り曲げたりリモコン発信機とは別部品からなる弾性を有する挟着部材25を取り付けてもよい。

【0022】図8は、リモコン発信機にストラップを挟着固定した第3の実施例の図である。

【0023】同図において、31はリモコン発信機であり、その表面には挟着部材として蓋32が設けられ、蓋32の一端に設けられたヒンジ32aにて蓋32は開閉する。蓋32の他端には係止部32bが設けられ、蓋32を開鎖したときリモコン発信機31に穿設された長孔31aに挿入され、周知のロック機構で係止部32bをロックする。

【0024】このように構成したリモコン発信機31の蓋32を開けた状態でストラップSをリモコン発信機31の表面に置き、蓋32を閉めて係止部32bにより係止すると、蓋の間隙DによりストラップSを圧着し、リモコン発信機31はストラップSの所定の位置に挟着固定される。

【0025】なお、係止解除は解除鈕31bをスライドして行う。

【0026】また、ヒンジ32aはリモコン発信機31の表面を形成する樹脂で一体成形した折り曲げによるヒンジでも、蝶番軸を設けたヒンジでもよい。

【0027】なお、ここで言う「表面」とは、リモコン発信機の外形を形成している部分を言うものである。また、蓋32の「一端」及び「他端」と述べたが、要は蓋32の一部にヒンジ部を有して、該ヒンジ部を支えとして蓋32が開閉できればよく、係止部もヒンジ部以外の部分でストラップの挟着を妨げる位置でなければ差し支えない。

【0028】

【発明の効果】本願発明によれば、リモコン発信機をストラップに取り付ける際、格別にホルダーを必要とせず、どのような形状のストラップにも挟着固定できるので、安価に生産でき、且つカメラ本体の大きさに影響を与えない。

【図面の簡単な説明】

【図1】カメラのストラップにリモコン発信機を取り付けた図である。

【図2】リストストラップにリモコン発信機を取り付けた図である。

【図3】リストストラップにリモコン発信機を取り付けた他の例の図である。

【図4】リモコン発信機にストラップを挟着固定した第1の実施例の図である。

【図5】リモコン発信機にストラップを挟着固定した第2の実施例の図である。

【図6】挟着部材の断面図である。

【図7】第2の実施例の変形例である。

【図8】リモコン発信機にストラップを挟着固定した第3の実施例の図である。

【符号の説明】

(4) 特開平 7-295093

5

S ストラップ

1, 11, 21, 31 リモコン発信機

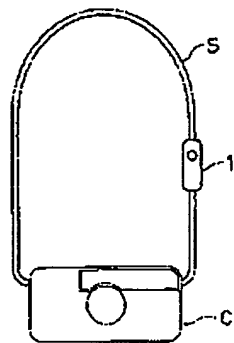
11a 長溝

* 12, 32 蓋

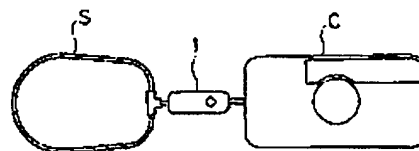
22, 25 扶着部材

*

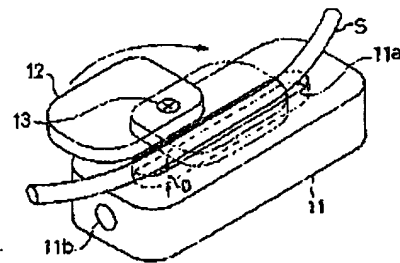
【図 1】



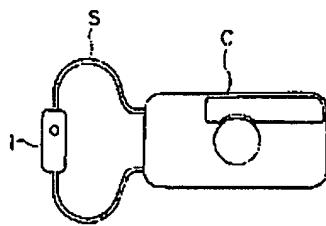
【図 2】



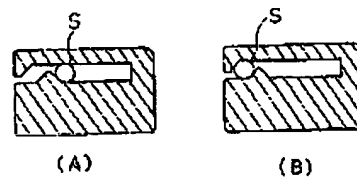
【図 4】



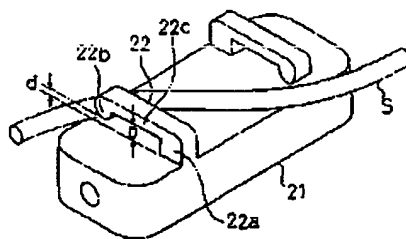
【図 3】



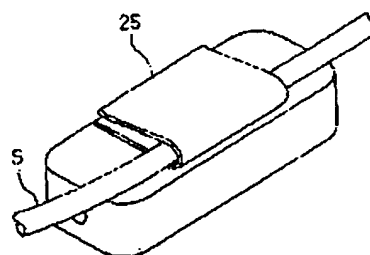
【図 6】



【図 5】



【図 7】



(5)

特開平7-295093

【図8】

